

福祉避難所について



前野 良三 議員

質問…現在本市において福祉避難所があるかどうか伺いたい。

答弁…本市では、大田原市地域防災計画において、一般の避難所では生活することが困難な要配慮者に対し、避難所での生活で特別な配慮が受けられるなど、要配慮者の状態に応じて安心して生活のできる体制を整備した福祉避難所を指定することとしています。指定にあたり、耐震

化が図られバリアフリー化された施設であること、要配慮者に対する相談や介護等の支援体制を有することとしており、要配慮者の利用に適している、生活相談員等の確保が比較的容易である高齢者、障害者福祉施設等の施設を利用することとしています。そこで本市では、平成24年度に高齢者福祉施設の17法人37施設と障害者福祉施設の2法

人2施設と協定を締結し、災害時の2次避難所である福祉避難所として協力いただくこととしています。

質問…市内の一般的な避難所の身障者用トイレ、スロープ階段の設置状況について伺いたい。

答弁…スロープが93か所の避難所のうち、33か所。身障者用トイレは、22か所で設置済みです。

一般質問



大豆生田 春美 議員

消防団員の確保について

質問…消防団サポート事業の進捗状況を伺いたい。

答弁…平成27年11月に大田原市子育て支援券取扱店等の中から、地域や業種を絞り込んだ193の事業所に対して、同事業への賛同に関するアンケートを実施したところ68件の回答があり、回答率は35%でした。回答いただいた68件のうち50件の、そのうち73%がこの事業に協力いた

だけるという結果でした。

この結果をもちまして、事業に必要な財源としての県の補助事業を活用するとともに、関係要綱を今年10月を目途に整備することとし、消防団員証の交付や事業に賛同いただいた事業所に取扱店としての明示依頼等の準備を行い、平成30年度から制度の運用を開始します。

質問…学生消防団活動認証制度

導入の考えはあるか伺いたい。

答弁…平成29年4月の段階では、まだ学生の消防団員は在籍しておりません。機能的消防団員制度が導入されたことや、消防団サポート事業を近々予定していますので、その効果も考慮して、各分団等の消防団員数の充足率等の動向を見ながら、今後検討していきます。